

研究実施のお知らせ

2025 年 4 月 4 日 ver.1.0

研究課題名

島根大学医学部附属病院における小児日帰り手術の現状：麻酔管理方法および術後の状態に関する後ろ向き調査

研究の対象となる方

2024 年 9 月から 2025 年 3 月の間に島根大学医学部附属病院（以下当院）で小児外科の日帰り手術のために全身麻酔を受けられた方

研究の目的・意義

手術と麻酔の安全性が高くなり、短時間で体への負担が少ない全身麻酔の手術は、日帰りでも受けられるようになっていきます。特にお子さまの日帰り手術では、入院によるお子さまの不安を減らせるだけでなく、付き添うご家族の負担も軽くできるという大きな利点があります。当院では、大きな健康問題のないお子さまの手術を一部日帰りで行っています。術後の合併症リスクが少なく、痛みも比較的軽いとされている手術を対象としていますが、一部の患者さまでは術後の痛みや吐き気などで予定通り日帰りできないことがあります。麻酔科医は術後の患者さまを訪問して状態を確認していますが、日帰り手術ではお帰りまでに訪問できないことがあります。代わりに、当院では病棟看護師がご家族に電話連絡し、術後に問題がないか確認して記録しています。

本研究では、全身麻酔を受けたお子さまの日帰り手術について、予定通り日帰りできた割合と、できなかった場合の理由を、看護師による術後チェックリストをもとに調査します。また、退院後にどのような問題があったか、その頻度や麻酔方法による違いなどについても調査・検討します。

研究の方法

カルテや術後チェックシートから、既に記録された以下の情報を集めます。
これらの収集した項目に関して、統計処理を行います。

- 1) 術前の情報：性別、年齢、身長、体重、併存症、ASA-PS（American Society of Anesthesiologists physical status: 麻酔リスク分類）
- 2) 手術中に関する情報：診断名、術式、手術時間、麻酔時間、麻酔導入方法、麻酔に使用した薬剤・投与量、筋弛緩モニタリングの有無、筋弛緩薬拮抗の

- 有無、術中体位、気道確保方法（気管内挿管または声門上器具）、術中の問題
- 3) 術後から退院までの間の情報：手術室退室から退院までの時間、日帰り可能だったかどうか、退院できなかった症例ではその理由、退院までに生じた問題（疼痛、嘔気・嘔吐、咽頭痛など）とその程度、鎮痛剤・制吐剤使用の有無
 - 4) 退院後の情報：退院後に生じた問題（疼痛、嘔気・嘔吐、咽頭痛など）とその程度、鎮痛剤・制吐剤使用の有無

この研究に関するデータ等は、個人を特定できないように記号化した番号により管理します。あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。お名前などのリストは収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。外部への持ち出しは行いません。

研究の期間

2025 年 5 月 23 日～2026 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院麻酔科 青山由紀

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 11 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用

してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院麻酔科 青山由紀

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2295 FAX 0853-20-2297